

ご使用に際して、この説明書を必ず読んで下さい。  
また、必要な時に読めるよう本剤とともに保管して下さい。

# 桂枝加芍薬湯

(けいしかしゃくやくとう)

第2類医薬品

本剤は、漢方の古典「傷寒論」に記載されている桂枝加芍薬湯に準拠して製造された煎薬用の紙パック剤です。



## 使用上の注意



### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
  - (1)医師の治療を受けている人。
  - (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - (3)高齢者。
  - (4)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - (5)次の症状のある人。：むくみ
  - (6)次の診断を受けた人。：高血圧、心臓病、腎臓病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
偽アルドステロン症、 三オパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、 筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。

- 1週間位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- 長期運用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

## 【効能・効果】

腹部膨満感のある次の諸症：しぶり腹、腹痛

### 【効能・効果に関連する注意】

しぶり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すものことである。

## 【用法・用量】

大人（15才以上）は1包（1日量）につき水400mLを加え、あまり強くない火にかけ200mLに煮つめ、紙袋とともに煎じがすを取り去り、食前1時間前又は食間空腹時に温服して下さい。小人（15才未満4才以上）は同様に煎じて下記の量を食間空腹時に温服して下さい。

年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数	年 齢	1包(1日量) 煎じ液	1日服用回数
大人(15才以上)	全 量	3～2回 に分けて	15才未満7才以上	2/3量	3回に分けて
			7才未満4才以上	1/2量	
			4才未満	服用しないこと	

### 【用法・用量に関連する注意】

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2)用法・用量を厳守すること。

## 【成分・分量】

[本品1包(1日量)17.2g中]

日本薬局方 ケ イ ヒ…………… 4.0g	日本薬局方 ショウキョウ…………… 1.2g
日本薬局方 シャクヤク…………… 6.0g	日本薬局方 カンゾウ…………… 2.0g
日本薬局方 タイソウ…………… 4.0g	

## 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4)煎じ薬は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用すること。



### 【問い合わせ先】

本製品についてのお問合せは、お買い求めのお店、または下記にお願い申し上げます。  
東洋漢方製薬株式会社「お客様相談室」  
電話 0120-00-1040  
受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の問合せ先  
（独）医薬品医療機器総合機構  
電 話 0120-149-931

製造販売元

**東洋漢方製薬株式会社**

〒584-0022 大阪府富田市中野町東2丁目1番16号